

再評価結果（平成16年度継続事業箇所）

担当課：中部整備局都市整備課

担当課長名：筒井 祐治

事業名	あきばやまたかかくせんほか 秋葉山高向線外1線		事業区分	街路	事業主体	三重県
起終点	自：三重県伊勢市中島一丁目 至：三重県度会郡御園村大字高向字下三本松			延長	753m	
事業概要 本路線は、市道八日市場宮川堤線を起点とし、新国道（県道鳥羽松阪線）を経て坂社豊浜線（県道伊勢松阪線）に至る幹線道路として都市計画決定されており、坂社豊浜線（県道伊勢松阪線）を經由して国道23号線へと接続するとともに、伊勢市と御園村を連絡する重要な路線である。当地域においては、JR参宮線と近鉄山田線が東西に併走し、多くの道路がこれらの鉄道と平面交差しているため、交通渋滞を招いており、都市の分断の原因ともなっている。当該事業区間は、JR参宮線との交差を跨線橋により立体化するもので、これにより市街地へのアクセス向上を図り、伊勢市と御園村地域のまちづくりに寄与しようとするものである。						
H6年度事業化	S46年度都市計画決定 (H13年度変更)		H6年度用地着手		H11年度工事着手	
全体事業費	約43億円		事業進捗率	55%	供用済延長	0m
計画交通量	6,000台/日					
費用便益比	B/C	総費用	総便益		基準年	
	1.7	46億円 事業費：46億円 維持管理費：0.52億円	79億円 走行時間短縮便益：68億円 走行費用減少便益：3.3億円 交通事故減少便益：3.9億円 環境影響減少便益：3.9億円		平成15年	
事業の効果等 <ul style="list-style-type: none"> ・円滑なモビリティの確保（活力）…現道の旅行速度が改善されるとともにアクセス機能が向上する。 ・都市の再生に寄与（活力）…市街地の都市計画道路密度が向上する。 ・個性ある地域の形成に寄与（活力）…鉄道により一体的発展が阻害されている地区を解消する。 ・災害への備え（安全）…県の第2次緊急輸送道路ネットワークを構成する道路である。 						
関係する地方公共団体等の意見 都市交通の円滑化を図るうえでも、また、鉄道により分断されていた地区の解消を図るうえでも、当地域に必要な高い事業であると考えている。さらに、市町村合併支援道路としても重要な道路で、早期の事業完成を切望しており、残事業の円滑な推進に協力していく。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・当初、本線高架区間における沿道住民の利用を考慮して、既存村道の機能確保のための副道を計画していたが、隣接企業の工場敷地拡大に伴い副道沿線宅地の買収が行われたため、副道の必要性が無くなり、村道を別途付け替えることで対応した。このため、副道廃止に伴う都市計画変更を平成13年度に行った。 伊勢市と周辺町村による市町村合併への動きの中、合併支援道路としての役割も高まってきている。						
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・大規模工場との用地買収に時間を要したが、平成16年度以降本線工事に着手して行く予定である。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・用地買収対象となった企業が、工場敷地内の設備再配置と敷地拡大を計画したため、これらとの調整を図りながらの協議となった。協議の結果による副道廃止の都市計画変更を含め、一連の手続きに時間を要した。 ・大部分の起業地を取得できたことから、今後、本線工事を順次進め、平成19年度の完成をめざす。						
施設の構造や工法の変更等 ・本線高架区間の副道を廃止し、既存村道を付け替えることで、沿道の土地利用の効果を高めた。						
対応方針	事業継続					
事業概要図 						